

たかおか

市議会 だより

No.50 3月定例会号
平成30年(2018年)5月1日発行

3月定例会のあらまし	2P
議決結果一覧	4P
代表質問	5P
一般質問(一括質問・一括答弁)	6P
一般質問(一問一答)	10P
委員会の動き	12P

新高岡駅をご利用ください!



「かっちゃん!」(高岡「いいね」フォトコンテスト応募作品) 撮影:吉永 賢司

編集 ■ 広報広聴委員会
発行 ■ 富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



市議会ホームページから、過去の本会議の会議録の閲覧・検索ができます。
本会議録画映像をパソコンやスマートフォンなどでご覧になれます。

高岡市議会

🔍 検索



平成30年度予算全会計 総額1337億783万円を可決

代表・一般質問に18人が登壇

3月定例会は1日に開会し、23日に閉会しました。市長から平成30年度予算をはじめ86議案が、議員から条例2議案、意見書2議案が提出され、全ての議案を可決・承認・同意しました。

今定例会では、代表質問に1会派、一般質問に17人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・承認・同意した 主な議案等

条例

食育推進会議条例（新規）

食育推進法に基づき、食育推進計画の作成及びその実施の推進のため、食育推進会議を設置するもの。

・委員 9人以内、任期1年

職員給与に関する条例等の一部改正

人事院勧告に準拠し、一般職、特別職等の給与等について所要の改正を行うもの。また、一般職及び特別職の給料を臨時的に減額するもの。

(1)一般職の減額率

- ・管理職 5%
- ・給料表1・2級職員 2%
- ・その他職員 3%

(2)特別職の減額率

- ・市長 40%
 - ・副市長 15%
 - ・教育長 10%
 - ・上下水道事業管理者 10%
- （期間）平成30年4月1日
～平成35年3月31日

※市長のみ任期中

指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例（新規）

介護保険法の改正により、居宅介護支援事業所の指定権限が市に移譲されることに伴い、指定に当たっての人員及び運営の基準等を定めるもの。

（独自基準）

(1)居宅サービス計画を作成した際、利用者及び担当者への交付に加え、主治医にも交付する。

(2)事業者に対し、従業者の任用の際に職責・職務内容等の

要件の作成及び当該従業者への周知を努力義務とする。

(3)諸記録の保存期間を5年間とする。

※国基準 2年間

農村環境改善センター及び農村集落多目的共同利用施設条例の一部改正

農村環境改善センターである戸出会館及び中田会館を廃止するもの。

産業集積促進条例の一部改正

平成30年3月31日に事業高度化助成金の実施期間が終了することを踏まえ、新たな立地助成制度の創設、既存制度の見直しを行うもの。

(1)地域経済牽引事業助成金の創設

地域未来投資促進計画に基づき、新たに土地、減価償却資産（建物、機械及び装置等）の取得に要する経費が1億円（中小企業の場合は5千万円）以上の場合に、取得に要する経費額に100分の1・5を乗じた額を助成するもの。

（上限額）5千万円
（期間）平成30年4月1日
～平成35年3月31日

既存制度の整理

(2)土地賃借料助成金、テナント賃借料助成金を廃止するもの。

市民会館条例の一部改正

市民会館を当面の間、休館とし、指定管理者による管理から市直営とするもの。

その他

財産の取得（土地）

戸出西部金屋産業団地（仮称）の用地を取得するもの。

・所在 戸出西部金屋753番外

・面積 15万295㎡

・取得価格 11億2358万円

財産の譲与（建物）

(1)能町保育園の民営化に伴い、建物を譲与するもの。

・所在 鶯北新54番地2
・構造 鉄筋コンクリート造
2階建

・延床面積 953・82㎡

・相手方 社会福祉法人坂ノ下福祉会

(2)戸出会館を廃止し、建物を譲与するもの。

・所在 戸出町2丁目1番30号

・構造 鉄筋コンクリート造
2階建

・延床面積 616・14㎡

・相手方 高岡市農業協同組合

(3)山川キャンプ場の廃止に伴い、管理棟をキャンプ施設一式と共に譲与するもの。

・所在 山川字奥割551番地
・構造 木造平屋建



高岡やぶなみ駅開業記念式典

・延床面積 66・10㎡

・相手方 日本ボーイスカウト
ト高岡地区協議会

指定管理者の指定

4頁の議決結果一覧表に記載の議案第42号～第46号の7施設について、指定管理者を指定するもの。

報告

専決処分報告

平成29年度の除雪対策事業に対処するため、地方自治法第179条第1項の規定に基づき、4度にわたり、補正予算を専決処分したものを、補正予算額合計 7億2550万円

議員提出議案

本市の厳しい財政状況に鑑み、議会としても歳出の削減

を行うため、所要の改正を行うもの。

市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正

議員報酬月額を減額するもの。

報酬月額の減額率

- ・議長 5%
- ・副議長及び議員 3%

(期間) 平成30年4月1日

政務活動費の交付等に関する条例の一部改正

会派に対し交付する政務活動費を減額するもの。

- ・月額 7万5千円↓5万円
- (期間) 平成30年4月1日
- ↓平成31年3月31日

討論要旨 (発言順)

—平成30年度予算—

○社民党議員団

《反対》

財政健全化緊急プログラムに基づく、事務事業の見直しや公共施設管理コスト縮減等に取り組むことは、市民サービスを低下させるものである。また、人件費の削減によって、職員の士気が低下することを危惧している。その他、一方的な補助金のカットや公共施設の廃止などに、納得できないとの市民の声を聞く。十分な説明や協議がないまま取り

組みを進めることは、行政への失望感と不信感を招くため、現状では賛同できない。今後、市民の要望や意見に真摯に応えていくことを要望する。

○自民同志会

《賛成》

持続可能な財政構造を確立するため、投資的経費の抑制や交際費の平準化、公共施設管理コストの縮減、歳入の確保等が盛り込まれた、財政健全化緊急プログラムが策定された。現下の厳しい財政状況の中でも、本市の活力の維持・発展に向けた「まち」「ひと」「しごと」づくりに重点を置いた新規・拡充事業のほか、社会保障の充実や安全・安心対策等にも力を入れ、「選択と集中」を意識したメリハリのある予算編成に取り組んだことに対し、一定の評価をする。夢のある未来高岡の創造に向けて財政健全化の着実な実行と、公共施設再編の進捗について注視しながら本市の行政改革の遂行に尽力したい。

○日本共産党高岡市議団

《反対》

マイナンバー制度は、情報漏えいなどの不安を感じ、システムの不具合が噴出する中で、問題点の徹底的な検証と制度の見直し・凍結・中止を国に要請すべきである。また、財源不足を理由に、暮らし・

福祉・教育に係る予算の大幅削減を強行する厳しい財政状況下では、新総合体育館の建設を断念すべきである。国民健康保険税、介護保険料、下水道使用料については、一般会計からの繰り入れなどのあるらゆる財政努力による引き下げを求める。後期高齢者医療事業では保険料負担の軽減と制度の廃止を求める。

○公明党

《賛成》

新たな公会計制度の導入と、安心の子育てに重点を置いた病児対応型保育、一時預かりなど、多様な保育サービスの実施を評価する。さらに、金屋鋳物師町工房整備事業費を計上し、観光産業の振興に努めた点を評価しており、その早期整備を要望する。また、財政健全化緊急プログラムに基づき、公共施設再編の取り組みや、管理コストの削減、委託費の見直し、さらに、市

税収納対策の強化など効率的・効果的に健全な財政運営を積極的に推進し、市民が安心して住み続けられる高岡の再構築を強く要望する。

意見書 (要旨)

次の意見書を可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣、関係大臣等に提出しました。

障がい者(児)の生きる基

盤となる地域生活支援拠点の早急な整備等を求める意見書

障がい者(児)とその家族が地域で安心して暮らせるよう必要な社会資源の拡充を図るため、次の事項を要望する。

- 一 障がい者(児)が利用できるよう、グループホームや入所施設・通所施設などの社会資源を拡充するとともに、福祉人材を確保すること。
- 二 入所機能を備えた地域生活支援拠点の整備を促進すること。
- 三 障がい者(児)関係予算を増額し、地方公共団体を財政的に支援すること。

安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書

医師・看護師、介護職員の大幅増員、夜勤改善を図る対策を講じるよう、次の事項を要望する。

- 一 看護師など夜勤交替制労働者の労働時間を1日8時間、週32時間以内、勤務間隔12時間以上とし、労働環境を改善すること。
- 二 医師・看護師、介護職員などを大幅に増員すること。
- 三 安定的な財源を確保した上で、安全・安心の医療・介護を実現すること。

人事

農業委員会委員 ※全て新任

- 青木 紘氏 (福岡町三日子)
- 飯沼 清文氏 (醍醐)
- 市野 良治氏 (蔵野町)
- 一守 義乃里氏 (下牧野)
- 井上 健治氏 (小泉新)
- 岡島 秋美氏 (今泉)
- 小神 哲夫氏 (佐加野)
- 角田 龍男氏 (西藤平蔵)
- 柴田 明氏 (福岡町赤丸)
- 清水 善正氏 (笹川)
- 田井 佳夫氏 (二番町)
- 武内 正人氏 (下伏間江)
- 武部 剛氏 (大源寺)
- 中 豊明氏 (二上)
- 中村 善之氏 (戸出大清水)
- 中山 恵美子氏 (福岡町開醇)
- 濱木 一精氏 (福岡町一步二歩)
- 松之木 義博氏 (小竹)
- 吉田 彰氏 (戸出岡御所)

人権擁護委員

- 磯原 正浩氏 (新任)
- 岡西 法英氏 (再任)
- 尾崎 かをる氏 (再任) (内島)
- 廣瀬 哲丈氏 (再任) (福岡町福岡新)
- 山崎 京子氏 (新任) (木津)
- (中川上町)

議決結果一覧表 (平成30年3月定例会)

[議案]

番号	件名	結果
第1号	平成30年度高岡市一般会計予算	可決
第2号	平成30年度高岡市国民健康保険事業会計予算	
第3号	平成30年度高岡市荻布奨学金事業会計予算	
第4号	平成30年度高岡市駐車場事業会計予算	
第5号	平成30年度高岡市工業団地造成事業会計予算	
第6号	平成30年度高岡市介護保険事業会計予算	
第7号	平成30年度高岡市後期高齢者医療事業会計予算	
第8号	平成30年度高岡市高岡市民病院事業会計予算	
第9号	平成30年度高岡市水道事業会計予算	
第10号	平成30年度高岡市工業用水道事業会計予算	
第11号	平成30年度高岡市下水道事業会計予算	
第12号	附属機関に関する条例の一部改正	
第13号	食育推進会議条例	
第14号	個人情報保護条例の一部改正 附則「情報公開条例の一部改正」	
第15号	職員定数条例の一部改正	
第16号	職員の給与に関する条例等の一部改正	
第17号	企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化のための固定資産税の課税の特例を定める条例及び企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の一部改正	
第18号	手数料条例の一部改正	
第19号	八塚教育振興基金条例の一部改正	
第20号	荻布奨学基金に関する条例の一部改正	
第21号	越前国際交流基金条例の一部改正	
第22号	土地開発基金条例の一部改正	
第23号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正	
第24号	きずな子ども発達支援センター条例の一部改正	
第25号	国民健康保険条例等の一部改正	
第26号	介護保険条例の一部改正	
第27号	指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営の基準等に関する条例	
第28号	指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例等の一部改正	
第29号	公害防止条例の一部改正	
第30号	農村環境改善センター及び農村集落多目的共同利用施設条例の一部改正	
第31号	農業センター条例の一部改正	
第32号	市営土地改良事業及び農地農業用施設災害復旧事業の経費の賦課徴収に関する条例の一部改正	
第33号	産業集積促進条例の一部改正	
第34号	風致地区内における建築等の規制に関する条例及び都市公園条例の一部改正	
第35号	市営住宅条例の一部改正	

[議案]

番号	件名	結果
第36号	市民会館条例の一部改正	可決
第37号	財産の取得（土地）	
第38号	財産の譲与（建物）	
第39号	財産の譲与（建物）	
第40号	財産の譲与（建物）	
第41号	損害賠償の額の決定	
第42号	指定管理者の指定（福岡鯉の里公園）	
第43号	指定管理者の指定（まちづくり福岡工房）	
第44号	指定管理者の指定（福岡観光物産館）	
第45号	指定管理者の指定（ふくおか総合文化センターアリーナ及びフィットネスジム）	
第46号	指定管理者の指定（市営福岡テニスコート及び福岡B&G海洋センター）	
第47号	指定管理者の指定の期間の変更（戸出会館）	
第48号	指定管理者の指定の期間の変更（中田会館）	
第49号	指定管理者の指定の期間の変更（市民会館）	
第50号	農業委員会委員の過半数を認定農業者等又はこれらに準ずる者とする事	
第51号	平成29年度高岡市一般会計補正予算	
第52号	平成29年度高岡市国民健康保険事業会計補正予算	
第53号	平成29年度高岡市駐車場事業会計補正予算	
第54号	平成29年度高岡市工業団地造成事業会計補正予算	
第55号	平成29年度高岡市介護保険事業会計補正予算	
第56号	平成29年度高岡市後期高齢者医療事業会計補正予算	
第57号	平成29年度高岡市高岡市民病院事業会計補正予算	
第58号	平成29年度高岡市工業用水道事業会計補正予算	
第59～77号	農業委員会委員の任命	同意
第78～82号	人権擁護委員の推薦	

[報告]

番号	件名	結果
第1～4号	専決処分報告(平成29年度高岡市一般会計補正予算)	承認

[議員提出議案]

番号	件名	結果
第1号	市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	可決
第2号	政務活動費の交付等に関する条例の一部改正	
第3号	障がい者(児)の生きる基盤となる地域生活支援拠点の早急な整備等を求める意見書	
第4号	安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める意見書	

[請願]

番号	件名	結果
第3号	消費税10%中止を求める意見書採択の請願	不採択

[議員別賛否一覧] (賛否が分かれた議案等のみの)

○…賛成 ×…反対 ※…議長は表決に加わりません。

議案番号	議員名	高瀬	瀬川	角田	篠井	林	山口	石須	中村	高岡	酒井	横田	数中	上田	吉田健太郎	中川加津代	坂林	本田	福井	金森	金平	樋詰	狩野	曾田	水口	高島	大井	畠
		充子	侑希	悠紀	哲治	貴文	泰祐	大雄	清志	宏和	善広	誠二	一夫	武	太郎	永喜	利麻	直樹	一郎	直巳	和子	安郎	康司	清志	義一	正樹	起也	
議案 第1号		×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○
議案 第2号		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 第4号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第5号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第6号		×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 第7号		×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 第8号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第9号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第10号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第11号		×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 第12号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第16号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○
議案 第17号		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 第30号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第31号		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 第33号		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
議案 第38号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第39号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第40号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第47号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案 第48号		○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願 第3号		○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×

代表質問

今定例会では、自民同志会の代表が市政全般にわたり質問しました。主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自民同志会
曾田 康司

市民サービスの向上を

問 平成30年度予算編成について問う。

(1) できる限り、市民サービスが低下しないような予算編成を行うとのことだが、未来高岡の活力を高めるため、市民サービス向上を目指すべきと考えますが、見解は。

(2) コミュニティバス「こみち」に関して、廃止の方針発表前に、車両の大きさや運賃、運行形態、ルートの見直しなど、改善策を検討すべきと考えますが、見解は。

市長 (1) 事業の優先順位の明確化を図り、「市民創造都市高岡」の実現に向け、未来への投資を行うための確かな足掛かりを得る予算とした。予算には、「まち」「ひと」「しごと」づくり重点を置いた新規・拡充事業や、特別保育、高齢者福祉、障がい者福祉に



平成30年3月で運行を終了した「こみち」

関するサービスの提供等の社会保障の充実、通学路の安全確保対策、高機能消防指令システムの更新等の安全・安心対策等を盛り込んだ。限られた財源を有効活用するとともに、「選択と集中」を徹底し、市民サービス向上に向け、施策の推進に取り組みたい。

市長政策部長 (2) 運行形態の見直しのほか、停留所の増設などルートの見直しにも取り組んできたが、利用状況が減少傾向にあることから、実態を調査したところ、特定施設等への移動や特定の区間だけ

の利用など、循環型の利点を活かされていない状況が見えてきた。また、老朽化した車両の更新等の課題が見えるなか、地域ニーズに即した新たな地域交通システムを進めていくため、中心市街地における循環型の公共交通を見直す時期と捉え、地域公共交通会議で交通事業者や利用者代表等の意見を踏まえ、運行終了を決定した。

財政健全化緊急プログラム

問 プログラムの達成の見通しと完遂に向けた決意は。

市長 2022年度まで、毎年8億円程度の収支改善を図りながら、約40億円の構造的な歳出超過を解消することとしている。未来を担う若者たちが希望を持てるまちづくりを実現するためには、市民生活への影響を最大限考慮しながら、持続可能な財政構造を確立することが必要不可欠である。市政を預かるトップとして、不転の覚悟で、自ら率先し、職員一丸となり、完遂したい。

企業の生産性向上の推進

問 生産性向上特別措置法に基づき、設備投資に係る新たな固定資産税の特例を設けるべきと考えますが、方針は。

市長 法律では、市町村が独自に償却資産に係る固定資産税を0%から2分の1の範囲で定めることが可能とされている。また、0%の課税軽減を実施した市町村の中小企業者等に対しては、国が実施する「ものづくり等補助金」の優先採択や補助率の引き上げといった特例措置が実施される。このため、補助金を積極的に活用している本市の企業にとつては、一層の利用促進の追い風になると考える。設備投資の促進に伴う取引拡大等の波及効果など、地域経済の活性化に資するとともに、

税源涵養にも結び付くことが期待されるため、議会での審議のうえ、この固定資産税の0%の課税軽減を実施したい。

次期障がい者基本計画

問 平成30年度より実施される障がい者基本計画の目指すところと、その重点施策は。

市長 30年度からの計画では、これまでの取り組みに加え、

新たに「誰もが共に生きる地域の一員であることを理解し、地域で支え合うまち」を目指すこととしている。そのため重点施策として、「高岡あつまり福祉ネット」と「あつまりライフ支援システム」が連携し、障がい者支援を行う高岡型の地域包括支援システムの構築に取り組みとともに、市民一人ひとりが、障がいの特性や個々に合った支援があることを理解できるよう、障がいのある人となない人の交流を図りたい。

教育施策の一層の充実を

問 厳しい財政状況下においても、教育施策をより充実していく必要があると考えますが、見解は。

教育長 未来を担う子どもたちの教育の充実、本人自身の能力の伸長や進路実現のみならず、地域や国の将来をも左右する大変重要な課題と考える。厳しい財政状況を踏まえ、限られた予算を最大限に活用するとともに、学校教育に必要な予算の確保については、児童生徒や保護者、地域等の期待と信頼に応え、より充実した教育が展開できるように、積極的に取り組んでいきたい。

一般質問

(一括質問・一括答弁)

今定例会では、13人が市政全般にわたり、一括質問・一括答弁方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



角田 悠紀
自民同志会

新総合体育館の設計図

〔問〕 歳入増の取り組みとして、総合体育館の建設計画を打ち出している全国の自治体に完成した設計図を売り込んで、

〔答〕 本市と同様に他の自治体でも、公共施設等の建設に当たっては、地盤や部屋配置等が異なるため、それぞれ設計図を作成している。また、建設地の地盤や気候条件などが異なることから、積雪荷重に応じた柱や梁の太さなど相応の見直しが想定されるが、関心を持つ自治体があれば、情報を共有し、どう協力できるか詰めていきたい。

市民サービスの向上

〔問〕 職員の意識改革でできる「お金のからない市民サービス」の向上を目指しては、

〔答〕 信頼される市役所を目指すうえで、笑顔と真心のこもった対応は大切であり、職

員一人ひとりが、市民に真摯に寄り添う気概と態度を強く持つてもらいたい。職員が市役所の中に閉じこもることなく、率先して地域の現場に飛び込み、市民の目線で働くことを求めている。

おとぎの森リニューアル

〔問〕 駐車場の拡大や乗降用口・タリ等改善策が必要では。また、新幹線高架下の駐車場利用をJRに打診しては、

〔答〕 これまで駐車場不足が指摘されているほか、今回のリニューアルで公園利用者の増加が見込まれることから、今後の利用状況も見極め、乗降場所の設置や、新幹線高架下の利用も含めた新たな駐車スペースの確保等を検討したい。



大井 正樹
自民同志会

鳥インフルエンザへの対応

〔問〕 平成30年1月、香川県内で鳥インフルエンザが発生し

た際、本市が行った関係機関との協議内容と、養鶏農家への情報提供及び指導内容は、

〔答〕 平時から県農業技術課等と連携し、市内養鶏場における発生時の防疫体制を整備している。先の発生時には、県西部家畜保健衛生所が養鶏農家等に防鼠対策等の注意喚起や消石灰の配布を行い、市もホームページ等で周知した。養鶏農家に対し、ワクチン等の購入支援や家畜の疾病予防・衛生指導を行うなど、未然防止に努めている。

農地基盤整備の安定的実施

〔問〕 利用権や農地中間管理機構を活用して担い手等に農地を預けた土地所有者は、基盤整備に係る費用を負担しないことが予測されるが、対応は、

〔答〕 農地中間管理機構関連農地整備事業等の県内先行事例等を注視しながら、国の制度を有効活用した地元農業者等の負担軽減策について、関係機関と協議したい。

十分な経営所得安定対策を

〔問〕 平成30年度からの新たな

コメ政策に伴い、十分な経営所得安定制度の導入が最優先と考えるが、見解は、

〔答〕 農業者の意欲を持続させる経営所得安定対策の構築は重要であり、機会を捉えて全国市長会等を通じて国に要望したい。また、水田フル活用ビジョンに基づき、高収益作物の生産を促進しながら、国の産地交付金を効果的に活用し、農業者の経営の安定につながるよう努めたい。



筏井 哲治
自民同志会

公共施設の有効活用

〔問〕 アウトドアマーケット事業を開催できるよう、おとぎの森公園や新高岡駅、高岡駅などの公共施設を、民間事業者や各種団体に提供しては、

〔答〕 これまでも、「高岡こどもまつり」や飛越能交流イベント等で有効活用しており、今後も、要望があれば、施設関係者と相談したい。

自治体クラウドの導入は

〔問〕 本市の情報戦略について

〔答〕 (1)平成30年度の情報システム

規開発や新しいプロジェクトなどの投資的予算の内訳は、

(2)政府が進める自治体クラウドへいつまでに移行するのか。また、移行により、30年度の基幹システム関連予算の何%の削減を目標とするのか。

〔答〕 (1)既存システムの維持管理費は、9億9666万円、新規事業等に係る投資的経費は、1億4118万円である。主な新規事業として、小中学校へのタブレット型パソコンの導入が約340万円、福祉医療費請求書の電子データ化が約500万円、改元に伴う改修費が約3900万円、税務や福祉関係業務の制度改正に伴う改修費が約5700万円である。



イベントでにぎわう高岡駅万葉ロード

(2)国のロードマップでは、30年度から10年間を導入期間と示しており、本市では、住民記録・税務・福祉などの基幹系業務システムの最初の更新を32年度、次回は37年度と想定している。また、コスト削減効果は3割程度と言われているが、システムの規模や枠組みで大きく異なる。



高岡 宏和
自民同志会

多文化共生事業への支援

図 多文化共生の地域づくりを推進する地域に対して支援してはと考えるが、見解は。

市民生活部長 現在、「多文化コミュニティ事業補助金」を設け、自治会等が主体の「日本を含む異なる国籍を持つ市民の地域での交流推進を目的とする事業」などに助成している。今後も、地域で主体的に多文化共生を進める取り組みへの支援に努めていきたい。

県や呉西圏域での連携

図 広域行政の連携について問う。

(1)隣接市の境界付近の除雪や雪捨て場などは、呉西圏域の連携で解決できるのでは。

(2)市民会館の休館に伴い、県や近隣市に連携を働き掛けながら、市民の文化活動の場を確保すべきでは。

都市創造部長 (1)境界付近の除雪は、これまでも隣接市と調整してきた。今冬の大雪では、射水市との入り組んだ境界付近で除雪が不十分な箇所も確認されたことから、平成30年度からも、両市で作業分担の確認などに努め、効率の良い除雪をしたい。また、市の雪捨て場情報を市広報紙やホームページ等に掲載し、市民への周知に努めたい。

市長政策部長 (2)これまで、市民会館で実施してきた事業は、市外を含めた文化施設等で実施することとなる。これを機に県や近隣市に連携を働き掛け、さらなる事業の充実等につなげたい。また、周辺の文化施設を利用していただけるよう、積極的に情報を提供し、市民の文化活動の場の確保に努めたい。



中川 加津代
自民同志会

予算編成の手法の見直しを

図 健全な財政構造の構築を図るうえで、従来の予算編成

のあり方を抜本的に見直す必要があると考えるが、見解は。

市長 平成30年度早々に、31年度予算編成に向け、新体制の下で部長と今後の政策課題とビジョンを共有しつつ、財政健全化緊急プログラムに則り、ゼロベースの視点で事務事業の見直し、公共施設の再編、歳入の確保など、スピード感を持って計画的に改革に取り組みたい。

持続可能な財政運営を

図 公債費の平準化は目の危険回避テクニクであり、将来負担比率の引き下げなど、中期の資金収支の健全化を図ってこそ本質的な財政の立て直しと考えるが、見解は。

総務部長 財政健全化緊急プログラムには、公債費の平準化に加え、投資的経費の抑制を図り、市債発行額を制限することで将来の公債費を低減させる取り組みも盛り込んでいる。市債発行額の徹底管理と実質公債費比率18%未満の堅持を図りつつ、財政構造の改善に努め、持続可能な財政運営を確立していきたい。

医療機器更新の効果は

図 市民病院の放射線治療装置の更新による医療基盤の強化に係る費用対効果は。



新たな放射線治療装置を導入した高岡市民病院

市民病院事務局長 放射線治療の再開で、本院を受診するがん患者数の回復が見込める。がん診療拠点病院として、放射線治療装置の更新は、不可欠であり、医療の質の向上に貢献するとともに、経営に対する効果が高いと考えている。



上田 武
社民党議員団

労働者や入居団体へ配慮を

図 公共施設の管理コストの縮減などが、施設で働く人たちの雇用不安や入居団体の負担にならないようにすべきと考えるが、見解は。

総務部長 施設で働く人たちがや施設に入居する団体にも意

を用いる必要がある。そのためには、雇用者や入居団体に組み込みのスケジュールを明示し、労働法令を守り、雇用不安を与えないよう努めるとともに、入居団体に過度の負担が掛からないよう施設管理者や入居団体などと十分協議・調整し、計画を進めたい。

補助金削減の再考を

図 健康寿命の延伸が国保事業等に与える好影響を考えると、老人クラブへの補助金の削減は避けるべきでは。

福祉保健部長 老人クラブへの補助金は一部削減の方向であるが、新たに創設する住民主体の介護予防事業の取り組みを、老人クラブと連携しながら発展させていきたい。

待機児童の解消を

図 子どもの安心の居場所づくりは喫緊の課題であると考えられるが、学童保育の待機児童をなくすための取り組みは。

福祉保健部長 平成27年度から29年度までの間には、小学校や地域の協力で8カ所のクラブ室の整備を行い、学童保育の受け入れ体制の拡大に努めてきた。一部のクラブでは、入所を断る現状もあることから、今後、増大するニーズを見据え、支援員の確保にも努

めながら、待機児童の解消と児童保育の充実に向け取り組みたい。



中村 清志
自民同志会

大雪を見据えた除雪体制を

除雪施設の設置拡大や、平成30年豪雪の教訓を活かした除雪の実施計画の見直しについて、見解は。

都市創造部長 除雪施設の大

幅な増設は、地下水保全の観点から新規設置を抑制しており、慎重を要する。機械除雪は、今般の豪雪の経験を活かし、重要な幹線道路を優先するなど、より効果的な除雪体制の確立に向け、実施計画を見直したい。

市民の健康意識の向上を

現 現在策定中の健康たかおか輝きプラン（第2次）の特色は。

市長 第2次プランでは、青壮年期からの健康づくりを重点を置き、望ましい生活習慣の確立と生活習慣病の発症・重症化予防、住む人が健康になるまちづくりに重点的に取り組むこととした。これらを実践する方法として、健康づ

くり市民行動目標「健康たかおか10か条」と定め、市民の意識を醸成しながら、健康づくりを推進していきたい。

教育現場の環境改善

インフルエンザ対策として、小・中学校の教室における加湿機能付空調機等の設置が効果的と考えるが、見解は。

教育長 本市では、各学校にせつけんやマスク等を配布し、手洗いやうがい等呼び掛け、学校と連携して感染予防や感染拡大の防止に努めてきた。加湿器の設置は、各学校の実情に応じて、対応してきた。今後も、各学校の意向等を聴きながら、より良い教室環境の整備に努めたい。



林 貴文
自民同志会

クルーズ船のおもてなしは

平 平成30年5月8日、伏木港にクルーズ船「MSCスプレンドイダ」が入港予定だが、どのようなおもてなしを検討しているのか。

産業振興部長 寄港時は、ふ頭での観光案内所や飲食・物販ブースの設置、歓送迎イベントの開催、通訳の配置や中

心市街地行きシャトルバスの運行等を行っている。今回は、これに加え、金工・漆工など地場産業のものづくり体験の実施や「伏木巡回シャトルバス」の運行を予定している。

広い視野での観光振興策を

観光振興策について問う。

(1)他県11市町が共同申請した「北前船をテーマにしたストーリー」が日本遺産に認定されたが、北前船寄港地としての歴史を持つ本市として、追加認定に取り組んでは。

(2)全国でマンホールカードが人気を博しているが、本市独自のデザインのカードを発行し、道の駅などで配布しては。

市長政策部長 (1)全国の北前船寄港地からの当該ストーリーへの追加認定に対する働き掛けにより、平成30年2月、本市を含む27自治体の文化財について、代理申請者である山形県酒田市から文化庁へ追



マンホールを観光誘客に活用

加認定の申請を行った。追加認定されれば、全国の自治体と広域的なネットワークも活用し、誘客につなげたい。

上下水道事業管理者 (2)マンホールカードは、上下水道のイメージアップや都市のPR等、観光面でも効果があると考える。県外からカードを求める来訪者も多く、今後、申請に向けて取り組みたい。



藪中 一夫
自民同志会

伝統工芸を発信する好機

本 本市で開催する日本遺産サミットで、ものづくりの魅力を広める取り組みをしては。

産業振興部長 本市では、例年9月に工芸都市高岡クラフトコンペティションや高岡クラフト市場街などのイベントを実施している。日本遺産サミットでは全国の来訪者に、伝統工芸やクラフト作品で彩られたまちなかで、作品の鑑賞などを通じ、高岡のものづくりの神髄に触れてもらえるよう取り組んでいきたい。

呉西圏域連携の観光誘客

イン インバウンドを目的としたシンガポール訪問の手応え

と、その成果を踏まえた今後の取り組みは。

市長 呉西圏域6市が連携し、「富山WEST」と称してこの圏域の自然、歴史、文化、食ものづくりなど多彩な魅力を

シンガポールの市民や旅行会社、関係機関に対して、強力にアピールできた。現地エージェントからは、旅行商品造成に前向きな姿勢を示してもらった。今後は、6市連携の広域観光周遊ルートの形成、現地に向けた情報発信などを進め、シンガポールをはじめASEAN諸国からの観光誘客を図っていきたい。

宿泊ニーズの多様化

民 民泊新法の施行についてどのように考えているのか。

産業振興部長 住宅宿泊事業法及び旅館業法が適正に運用されることにより、多様化する観光ニーズに呼応した健全な民泊サービスの普及が図られ、観光客の来訪や滞在が促進されると期待している。



酒井 善広
自民同志会

財務書類の積極的活用を

財 財政マネジメントの強化

12月定例会後～3月定例会前

- 12月20日 広報広聴委員会
- 1月10日 広報広聴委員会
- 2月 5日 産業建設常任委員会
民生病院常任委員会
8日 総務文教常任委員会
- 13日 議員説明会
代表者会議
- 21日 代表者会議
議会運営委員会
- 23日 正副常任委員長会議
- 28日 代表者会議

3月定例会

- 3月 1日 議員協議会
本会議(提案理由説明)
議案説明会
- 2日 議案説明会
- 5日 本会議(追加提案理由説明)
議案説明会
- 6日 本会議(代表質問)
- 8日 本会議(一般質問(一括))
- 9日 本会議(一般質問(一括))
- 13日 議会運営委員会
- 15日 本会議(一般質問(一問一答))
議会運営委員会
- 19日 代表者会議
民生病院常任委員会
産業建設常任委員会
- 20日 議会運営委員会
総務文教常任委員会
- 23日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議(議案など議決)

岡 公共交通を利用するため、最寄りの駅や電停等への移動手段を持たない方に配慮した、市域全体の地域交通のあるべ

高岡市総合交通戦略

のために統一な基準による地方公会計の整備促進と財務書類の積極的な活用が必要と考えるが、見解は。
総務部長 国の統一基準に基づく財務書類を、平成30年3月中に完成させるよう作業を進めている。財務書類を整備することで、市民に分かりやすい情報開示が可能となる。また、財務書類を活用することで、各種財務指標の設定や適切な資産管理等が可能となるため積極的に対応したい。

地域産業の稼ぐ力の強化

き姿を示す必要があるのでは。
市長 これまで構築してきた放射状の公共交通ネットワークを最大限に活用し、各地域からこのネットワークにアクセスできるような、地域バスや地域タクシーなど、地域の実情やニーズに柔軟に対応できる市民協働型の地域交通システムを構築していきたい。

岡 産業振興ビジョンを推進する平成30年度の具体的な取り組みは。
産業振興部長 30年度の主な取り組みとしては、創業促進支援や、高機能素材等の研究開発事業の実施、見本市への出展支援、戸出西部金屋産業



山口 泰祐
自民同志会

岡 「こみち」の地域住民の足としての意義、「まわるん」の観光的意義に鑑み、統合やルート再構築、運行便数、車両の小型化など、あらゆる可能性から存続の方法を探るべきと考えるが、見解は。
市長政策部長 高齢者数・高

コミュニティバスの存続を

団地(仮称)の造成、中小企業者資金需要に対応する融資制度の充実、広域連携での観光誘客に向けた取り組み、クルーズ船誘致などを進める。

インバウンド対策のツール

年齢率の上昇に比べて利用者が減少傾向であること、特定施設等への移動や特定区間だけの利用など、循環型バスの利点を活かされていないことが分かった。また、老朽化した車両の更新の課題が見える中、より地域が利用しやすい交通手段について抜本的に見直すこととした。

岡 高岡御車山会館に専用の多言語アプリやARマーカーを採用した理由は。
産業振興部長 外国人観光客の多くがスマートフォンやタブレットを利用していることや、既存展示への支障を最小

女性が活躍できる環境を

限にできることから、英語中国語に対応した多言語アプリやARマーカーを活用することとした。

岡 女性労働力の重要性を認識し、前向きな意識の醸成を図るため、企業への出前講座やセミナーの開催等、行政主導の啓蒙活動を実施しては。
産業振興部長 女性の就業機

会の充実やワーク・ライフ・バランス推進を図るため、毎年「女性の就労促進セミナー」を開催している。また、女性活躍推進の優良事業主への認定制度の周知など、意識啓発に努めている。



石須 大雄
社民党議員団

長生寮民営化の影響は

岡 養護老人ホーム長生寮を民営化するに当たり、セーフティ機能をどう維持するのか。
福祉保健部長 引き受け法人を選定する際は、民営化後もセーフティネットとしての役割を理解し、誠意を持って対応できることを公募条件とし、法人選定を行う。また、民営化後も、経済状況や家庭環境



多言語アプリやARマーカーを導入する高岡御車山会館

などの理由から、入所の必要な高齢者の措置決定は引き続き市が行うため、市民のセーフティネットとしての長生寮の役割は変わらない。

施設の存続を求める声

圃 万葉スポーツセンターについて問う。

(1)公共施設再編計画(案)での判定結果が原則短期廃止となっているが、実施時期について、せめて長期としては、

(2)施設の改修を行い、民営化選定委員会を設置して引き受け法人を探すべきでは。

総務部長 (1)資産老朽化比率が100%に近いこと、また

は、耐震性が100点未満であり、中長期的にみて、利用者の安全・安心が確保できないことから、原則短期廃止としている。

教育長 (2)施設の廃止にあたり、地域の住民や関係団体など十分な協議を重ねていく必要があると考えている。厳しい財政状況の下、さらなる人口減少を見据え、どのような地域づくりを進め、次世代に引き継いでいくかが問われる選択となる。どのような進め方がふさわしいか十分に検討し、幅広い観点から将来につながる協議を進めていきたい。



金平 直巳
日本共産党高岡市議員

市民への説明責任を

圃 市民説明会では40億円の財源不足となった原因について説明不足を指摘する声が多数あったが、説明責任を果たしたと考えているのか。

総務部長 平成30年1月に市内5カ所で財政健全化に係る説明会を開催し、900人以上の参加があり、様々な意見や提言をいただいた。また、電話やメール等で寄せられた

意見への対応に加え、市広報紙等や機会を捉えた説明を通じて、周知に努めてきた。

豪雪から得た教訓は

圃 雪害対策について、今後に活かすべき教訓は。

都市創造部長 除雪に時間を要したことや工作物の破損等について苦情が寄せられた。市街地内に雪置き場が少ないことが原因の一つであったため、今後、雪置き場を増やすことが課題である。

市民協働型の地域交通政策

圃 岐阜市での成功事例を研究し、市民の英知を結集して

全市的なコミュニティバスを運行しては。

市長政策部長 岐阜市では、地域が自らコミュニティバスを導入する制度を実施しており、運行ルートやダイヤ、運賃等も地域で設定している。また、高齢者の人口密度に応じて補助上限額や運行継続基準等を定めており、持続可能な運行を行っている。本市でも、地域タクシーや地域バスによる、市民協働型の地域交通システムの導入を推進することとしており、先行事例も踏まえ、持続可能な交通体系の構築を図っていきたい。

一般質問 (一問一答)

今定例会では、4人が市政全般にわたり、一問一答方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



瀬川 侑希
高岡だいすき会

計画的な市債の返済を

圃 構造的な歳出超過を5年間で解消する計画は理解するが、依然として残る1100億円超の市債の返済計画は。

市長 財政健全化緊急プログラムでは、投資的経費の抑制を図り、市債発行額を年間75億円以内にする事としていく。元金償還額よりも少ない市債発行額に抑制することで、市債残高を着実に削減したい。

稼ぐ高岡市を目指して

圃 市税収納率アップ以外の方法で、収入増を専門に考え

る部局横断的な部署を設置しては。

市長 財政健全化緊急プログラムでは、共創による「行政の稼ぐ力」を推進することとしている。新たに設置する財政構造改革担当次長の下、財政課、人事課経営管理室を中心に、全庁横断的なワーキンググループによる検討を行い、できることからスピード感を

おとぎの森の利便性向上

持つて着手する。その際には、財政健全化アドバイザー会議などの意見も参考に、柔軟に取り組みたい。

圃 おとぎの森公園の利用者が増えれば、飲食店などの民間サービスの需要も期待できると考えるが、公園内への出店をサポートする計画は。

都市創造部長 公園内に売店を設置しているが、利用者の利便性や満足度のさらなる向上を図るうえで、新たな民間サービスの提供も有効と考え



おとぎの森公園内への出店をサポートを

る。出店には、移動販売車なども想定されるため、出店スペースの提供等、どのようなサポートが可能か検討したい。



高瀬 充子
日本共産党高岡市議員

財政危機問題への対応

市民説明会では「予算がないのに、大型公共事業を行う必要はない。大きな予算から削減を考える必要がある」との指摘があったが、見解は。

市長 財政健全化緊急プログラムでは、投資的事業のスケジュール管理を徹底し、事業債の発行額を年間45億円以内とし、事業費の削減を図ることと、後年度の公債費を抑制する。さらに、過去に整備してきた公共施設とその管理のあり方等をはじめ、不断の行財政改革は不可欠であり、費用対効果や優先度、緊急度等から総合的に改革したい。

生活保護制度への理解

生活保護制度への偏見をなくするため、市民への周知を強めては。

福祉保健部長 本市では、地域住民に密接に関わる民生委員・児童委員に生活保護制度

の周知を行っているが、現在市民に対する直接の周知は行っていないが、今後は市のホームページに制度の趣旨や相談・申請方法等を掲載し、制度の理解に努めたい。

普通教室へのエアコン設置

小・中学校の普通教室へのエアコン設置について、早期設置に向けた平成30年度の取り組みの決意は。

市長 教室内の温度等の測定調査を行うなど課題の整理を進めている。30年度に「高岡市教育将来構想検討会議」を新たに設置する予定であり、どのような教育環境を整えることが大切か、十分に協議してもらいたい。



坂林 永喜
自民同志会

新しい地域交通システム

地域バスや地域タクシーを活用しやすい制度とするため、要件を緩和することが必要と考えるが、見解は。

市長政策部長 地域バス、地域タクシーは、本市の支援制度である。今後、市民協働型の地域交通システムの構築に当たっては、地域の実情や二

ーズにに応じて、人口や距離等の支援の要件について柔軟な対応を考えている。

市民協働による事業推進

市民協働事業として、庄川緑地パークゴルフ場のホール増設を地元が行うこととなった場合、本市も協力すべきと考えるが、見解は。

市長 庄川緑地パークゴルフ場の管理・運営等については、既に地元の「庄川緑地管理協力会」にお願いしている。さらなる市民協働事業の展開については、まずは所管する教育委員会と課題を整理しながら相談してもらいたい。

除排雪事業の後継者育成を

地域ぐるみ除排雪事業のオペレーターの後継者不足や

組織強化に対する見解は。

都市創造部長

市内33地区の推進協議会では、各地区の実情に応じて、オペレーターの確保や作業手順を決めて運営されている。一方、市では、各推進協議会に対し、小型除雪機械を貸与しているほか、運転に必要な講習会を実施している。各推進協議会の組織強化にはオペレーターの確保が必要と考えており、大雪に備え、今後、より多くの方に運転資格を取得してもらえよう働き掛けていきたい。



横田 誠二
自民同志会

発注業務の改善を

財政健全化に向けた歳出削減方法として、入札による電力購入の考えは。

市長 平成28年4月1日からの電力全面自由化に伴い、電力会社を自由に選択できるようになり、県内登録小売業者は2社存在している。財政健全化を進めるため、経費節減のあらゆる可能性を探らなければならぬ。電気事業者を入札により選択することについては、価格のみならず電力の安定供給や災害時の対応、

料金制度の違いにより、料金が上がる可能性がある施設の有無、現在利用している事業者から受けているメリット等の課題もあることを踏まえ、総合的に検討したい。

公共施設の管理業務を元請けの事業者と一括契約する、包括施設管理委託を導入しては。

市長 事務の軽減や経費の節減というメリットがある一方で、一括して発注することにより市内企業の受注の機会が減少する課題もあるため、効果的・効率的な手法について総合的に検討していきたい。

発注業務量を軽減するため、市の発注窓口の一本化を推進しては。

市長 事務の効率化や経費削減を図るため、コピー機の複数台まとめた発注や各中学校の消防設備の保守点検、高岡駅南広場や西高岡駅前広場等に係る清掃業務等の一元化を行っている。当面、こうした取り組みの拡大を図りながら、市の予算執行制度や、業務監督のあり方等の課題を整理し、効果的・効率的な発注手法を検討していきたい。



地域ぐるみの除排雪事業で貸与される小型除雪機械



委員会の動き

3 常任委員会では、委員が次の観点に立って当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆軽自動車税について、平成29年度と比較し、1496万4千円の増額となっているが、その根拠は。また、増額の要因の一つとして、軽自動車の台数増加も見込んでいるのか。
◆教材教具整備費として、小・中学校へのタブレット型パソコンの導入費が計上されている。今後、国が推進しようとしているプログラミング教育などを実施する場合、キーボードを付属しない端末では操作に支障があると考え

が、実際に導入する機種は、キーボードのないタブレット端末か、または、画面とキーボードが着脱できるノートパソコンに近い形状のものか。



「THE ドラえもん展 TAKAOKA 2018」開催に合わせ電停をラッピング

◆学校管理費について、トイレを洋式化すれば水道代も減少し、照明器具をLED化するれば光熱費も抑えられる。学校施設においても財政健全化に努めてもらいたい。

○民生病院常任委員会

◆在宅寝たきり高齢者等福祉金支給事業費について、平成30年度は361万円が計上されているが、29年度当初予算と比較して、450万円減額した理由は。

◆学童保育の入所希望者が定員を大きく超えるため、多数の入所できない児童が存在する。市内の各地区で、入所希望状況を毎年早期に確かめるべきと考えるが、見解は。

◆消防本部・高岡消防署庁舎改築事業費7千万円が計上されており、基本設計を実施す

るとのことだが、この詳細は。また、全体の設計額は。

○産業建設常任委員会

◆農地利用集積事業費の対象者数、面積、平成29年度末の担い手への集積率は。また、30年度の事業の進め方は。

◆道路維持管理費に関して、除雪による道路損傷について臨時的な財政措置が図られるよう国に要請しては。

◆駐車場事業会計歳入の駐車場使用料について、平成29年度予算と比較して減少しているが、まちなか市営駐車場の社会実験の終了の影響は反映されているのか。

◆新婚家庭のための住宅増改築等資金利子補給事業費の補正予算について、平成29年度の申請見込み件数と例年との比較状況は。

6月定例会の予定

6月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、6月1日開催予定の議会運営委員会で決定されます。

11日	10時	議員協議会
	13時	本会議 (提案理由説明)
15日	9時	議会運営委員会
	10時	本会議 (一般質問(一括))
18日	10時	本会議 (一般質問(一括))
20日	9時	代表者会議
	10時	民生病院常任委員会
	13時	産業建設常任委員会
21日	9時	議会運営委員会
	10時	総務文教常任委員会
25日	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議 (議案など議決)

詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本会議	委員会
29年 6月	29人	7人
29年 9月	26人	1人
29年12月	110人	4人
30年 3月	80人	11人

編集後記

年初から日本を丸飲みした巨大な寒気団が高岡に残した傷跡は、雪も解けた桃の節句の頃にようやく露わになり、近年まれに見る被害から、あらためて富山は古来より風雪厳しい雪国であったことを思い出させました。しかし、季節は確実に歩みを進め、市内のそこかしこで春が芽吹き始めました。

財政問題を抱える高岡市を季節に例えようと、しばらくは厳しい冬が続くことが見込まれます。市民の皆さまに負担を強いるのは心苦しいですが、次の高岡を作るため、責任を持って改革を進めてまいります。冬は耐え忍べば必ず春がやってきます。しかし財政問題は、耐え忍ぶだけでは解決はできません。耐えるところは耐えながらも、新しい政策や事業に果敢に挑戦し、改革を進めることで初めて高岡市にも遅れてやってきた春が満開に咲き誇ると信じています。

★編集委員

◎本田、○中川、高瀬、筏井、林、石須、吉田

(◎委員長 ○副委員長)

(筏井記)